

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- ・患者さんの人権と権利の尊重
- ・がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- ・地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- ・職員の働きやすい職場づくり

第10回 緩和医療懇話会開催される



第10回緩和医療懇話会を平成25年4月17日(水)午後7時から当院南館4階研修室で開催しました。今回の研修テーマは「緩和ケアにおける栄養管理について」で地域医療機関関係者の方々にご参加いただきました。当院外科医長塚山正市が、「緩和ケアでの栄養管理の必要性」、「がん悪液質について」、「栄養療法のギアチェンジ」などについての講演を行いました。また当院

栄養給食科管理栄養士 彦野小百合、中川美幸より食欲不振や嘔吐など症状に応じた食べ物について、「栄養補助食品」、「緩和ケア病棟の緩和御膳」について講演させていただきました。栄養補助食品については会場で展示と試食を行いました。

緩和医療懇話会は地域医療機関の方々に緩和医療についてのご理解を深めていただく目的で年2回開催を予定しています。医療機関、施設、薬剤師の方々の多数の参加をお待ちしております。

また、当院がん相談支援センターに「がん治療前の食事のヒント」(公益財団法人がん研究振興財団)の冊子があります。ご希望の医療機関の方はご連絡ください。



新任医師の紹介

- 1. 専門分野 2. 認定医、専門医
- 3. 得意とする分野 4. 今後の抱負
- 5. 趣味、その他



たかはし●なおき
高橋直樹

- 1. 消化器内科(肝・胆・膵)
- 2. 日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
- 3. 腫瘍内科(化学療法)
- 4. 小松市の医療に少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。



くぼた●みゆき
窪田美幸

- 1. 代謝内科



ながおか●あいこ
長岡愛子

- 1. 呼吸器内科



さえき●よしひろ
佐伯善洋

- 1. 精神医学
- 2. 精神保健指定医
- 3. 認知症
- 4. 地域の皆様の精神安定のため、精進を続けていきます。
- 5. クイズ



かじの●よしとも
楫野良知

- 1. 整形外科
- 2. 整形外科専門医
- 3. 関節外科(特に股関節、膝関節)
- 4. 整形外科全般にわたり、手術を含め対応してまいります。何なりとご相談いただければと思います。よろしくお願いたします。



ないとう●れなと
内藤玲奈人

- 1. 泌尿器科
- 3. これから見つけていきます。
- 4. 初心忘れず、日々研鑽を積んでいきます。
- 5. 合気道、スポーツ鑑賞



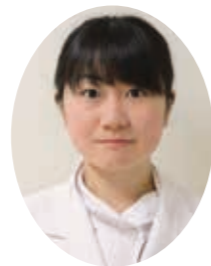
にしぶ●やすひろ
西部泰弘

- 1. 形成外科
- 2. 日本形成外科学会専門医
- 3. 形成外科一般
- 4. 頑張ります
- 5. ゴルフ、スキー



つちはし●ひろし
土橋洋史

- 1. 消化器外科・一般外科
- 2. 外科専門医・消化器外科専門医・消化器がん外科治療認定
- 4. 患者さんご家族の意向をふまえて、最良の治療ができるように頑張りたいと思います。



おかもと●まこと
岡本真琴

- 1. 麻酔科医

新任技師の紹介



中央放射線科
松本高史



薬剤科
片嶋順一



臨床工学室
村中晋也



臨床工学室
東大雄



臨床工学室
藤井一尊



中央検査科
加藤菜摘



中央検査科
星野いく美



精神保健福祉士
中江里佳



リハビリテーション科言語聴覚士
川崎禎裕

新任看護師の紹介



明石侑子



荒木智里



太田翔子



小堀有香



斎藤マリエキミコ



嶽野貴弘



戸井美月



西出琴奈



東野僚子



水野公恵

5月12日 看護の日イベント

看護週間5月12日(日)～5月18日(土)

外来エントランスホールで看護の日(5月12日)にちなんでイベントを行いました。

嚥下りハビリ食、介護食、とろみ調整食品についての紹介・試食を来院の皆様にご提供させていただきました。一般的に嚥下しやすい食物形態は、適度の粘りを持ち食塊の形成がよく均一なもの、咽頭の通過しやすいものです。嚥下障害の程度に応じて食事形態も変えることが必要になってきます。今回は、カレーライスやマーボ丼・プリンなどのやわらかい食べ物を紹介しました。また少量で高エネルギーの栄養調整食品の紹介と試食会をしました。



職員の子供さんの絵や作文を紹介しました。

入院体験記パネル展示

小松市民病院に入院されて、入院中の思いや体験、その時の世の中の動きをパネルにまとめられ、そのパネルを展示させていただきました。患者さんとしての思いやご家族の思いが表現されていました。また病院で働く看護師への思いも表現されていました。



看護の日は、21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。このことを老若男女問わず誰でも認識できるきっかけとなるように1990年8月「看護の日」の制定を要望して、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕にちなみ5月12日になりました。

がん相談支援センター

— セカンドオピニオン —

「セカンドオピニオンってなんや…先生が気を悪くせんかあな…」と心配されている方が相談にみえることがあります。

セカンドオピニオンについて記載させていただきます。

セカンドオピニオンとは

たとえばがんの告知を受けた時、治療方針を決めるにあたって主治医とは別の医師の意見を聞く仕組みを「セカンドオピニオン」といいます。それは、「医者をかえることではありません。主治医と良好な関係を保ちながら、他の医療機関の医師の意見を聞くことです。

納得して治療法を選ぶことは、患者の持つ基本的な権利です。

Q. まず何をすればいいのでしょうか

A. まずは、主治医に申し出ましょう

セカンドオピニオンは単純に病院や医師をかえることではありません。まず主治医に「セカンドオピニオンを取りたいのですが」とあなたの口から伝えてください。

Q. 主治医の機嫌を損ねたりしませんか？

A. 主治医の機嫌よりも大切なことがあるはずで。

自分の生命や身体に関して、少しでも多くの情報を得たいという気持ちは当たり前のことで、どんな名医でも否定できません。患者のことを第一位に考えてくれる医師なら必ず理解してくれるはずで。

Q. セカンドオピニオンをするとき、準備すること、注意することは、ありますか？

① 疑問点は、先に主治医に聞いてから

あなたの病状を最も理解しているのは主治医ですセカンドオピニオン医に質問する前に、主治医の意見をきちんと聞いてみましょう。

② 紹介状と診療情報もらいましょう

主治医に紹介状を書いてもらい、必要ならば病理検査、画像診断、内視鏡検査、血液検査などの診療情報もらいましょう。

③ 受け入れ先に確認しましょう

受診前に病院に電話をして、受け入れ体制、予約の有無、持参する資料、費用など確認をしましょう。

④ 病気の経過と聞きたいことをまとめておきましょう

セカンドオピニオンは健康保険の適用になりませんので、自費です。

(セカンドオピニオン・ネットワーク(SOP)2004.06)冊子より

小松市民病院はセカンドオピニオンの紹介、受け入れを行っております。

がん患者・家族の集い

なごむかい

和会のご案内

- 対象：がんの患者さんとそのご家族
- 日時：毎月 第4金曜日13:00～15:00
- 場所：小松市民病院 南館4階研修室
- 参加費：無料
- 内容：フリートーク、医療スタッフによる治療・療養生活に関するミニ講座

なごむかい

和会からのお願い

和会で語られる体験談は一人ひとりが、がんという病気と闘い、頑張ってきた姿勢です。互いの想いを認め合い、体験談への批評は差し控えて頂きたいと思えます。

参加にあたっては会員登録が必要です

皆様のご参加をお待ちしております。

参加申し込み・お問合せ

小松市民病院 がん相談支援センター
☎(0761)22-7111 (月～金曜日 8:30～17:15)

和会活動プログラム

(平成25年4月～平成25年9月)

とき	ところ	内 容
4月26日(金) 13時～15時 (終了しました)	小松市民病院 南館4階 研修室2	① 治療中の悩み事や不安についての話し合い (13～14時) ② フリートーク (14時～15時)
5月24日(金) 13時～15時 (終了しました)	〃	① フリートーク (13時～14時) ② ミニ講義 (14時～15時) 「前立腺癌について」 講師：泌尿器科 西野 昭夫 先生
6月28日(金) 13時～15時 (終了しました)	〃	① ミニ講義 (13時～14時) 「膵臓がんについて」 講師：内科 又野 豊 先生 ② フリートーク (14時～15時)
7月26日(金) 13時～15時	〃	① ミニ講義 (13時～14時) 「乳がん術後の治療について」 講師：外科 塚山 正市 先生 ② フリートーク (14時～15時)
8月23日(金) 13時～15時	〃	① 絵手紙教室 (13～14時) ② フリートーク (14時～15時)
9月27日(金) 13時～15時	〃	① 今後の活動についての話し合い (13～14時) ② フリートーク (14時～15時)

*都合により、ミニ講座の内容が変更になる場合があります。
当日の講義内容につきましては小松市民病院がん相談支援センターまでお問い合わせください。

**初回参加の方は事前にごがん相談支援センター(TEL:0761-22-7111(代))
までお問い合わせください。**

自動支払機について



診療費の清算に自動精算機2台が設置されました。
 診察後に④料金清算窓口で黄色のファイルを出します。
 掲示板に受診番号が表示されてから、自動支払い機の使用が
 できます。
 診察券が必要です。

クレジットカードが利用できるようになりました。

- 利用場所(1階)**
- 自動精算機2台
 - 支払窓口(JA)
 - 南加賀救急医療センター受付窓口

- 利用時間**
- 自動精算機及び支払窓口**
 月曜日から金曜日(8時30分～17時15分)
- 南加賀救急医療センター受付窓口**
 月曜日～金曜日(17時15分～翌8時30分)
 土・日・祝日

編・集・後・記

6月に入ってからは、天候も良く、いつもより爽やかな感じがする日が多いですね。これからは、熱中症に気をつけていかないといいですね。今年も熱中症予防に暑さ指数WBGT(湿球黒球温度)が出ると新聞に書いてありました。WBGT基準は、注意(25℃未満)、警戒(25℃～28℃未満)、嚴重警戒(28℃～31℃未満)、危険(31℃以上)でそれぞれ注意すべき生活活動の目安が書かれています。一度、環境省熱中症予防情報のWEBを見てはいかがでしょうか。

 国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
 TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
 URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
 E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp